

2014年9月28日

足立区役所 都市建設部 交通対策課
課長 三保尚之様
推進係 小林光雄様

半沢一宣

Re: 日暮里・舎人ライナーの土曜・休日の終列車時刻について

ご連絡ありがとうございました。
また添付ファイルに記された東京都交通局からの回答も拝見しました。

私が、この回答を読んで憤慨したのは、東京都交通局の
「お前達に軌道保守の専門的なことの何がわかる、俺達のやり方にケチを付けるな」
的な、余りにも都民を見下した役所的（もしくは官僚的）な姿勢です。
日暮里・舎人ライナーとゆりかもめとは軌道構造が同じなのですから、必要な保守作業
のメニューも同じであり、それに必要な作業時間も同じです。
ましてや、日暮里・舎人ライナーの軌道延長（距離）はゆりかもめよりも短いのですか
ら、保守作業に必要な時間がゆりかもめより長いことなど有り得ません。
こんなことは、小学生でもわかります。

にもかかわらず、東京都交通局は、今回の回答で事実上
「日暮里・舎人ライナーでは、ゆりかもめよりも長い保守作業時間が必要だ」
と主張しているわけです。
つまり、今回の東京都交通局からの回答は、例えて言えば、学校で放課後に教室を掃除
する際、隣のクラス（ゆりかもめ）では50人用の広さで30分あれば終わるのに「自分
達（日暮里・舎人ライナー）は30人用の広さで40分かけないと終わらない」と言っ
ているようなものです。
前者が6年生で後者が1年生だというならまだわかりませんが、大人が運営する公共交通
機関が、こんな小学生レベルの言い訳をするというのは、いかがなものでしょうか？

私は、東京都交通局からの今回の回答を前提とするならば、
「日暮里・舎人ライナーの軌道保守担当者の技術は、ゆりかもめの技術者よりも劣って
いる（レベルが低い）」
からだと考えなければ、保守作業時間の短縮ひいては終電の繰り下げができない理由を、
第三者へ合理的に説明することができません。
東京都交通局が、自分達の軌道保守技術のレベルの低さを棚に上げて「文句を言うな」
と開き直り、終電時刻の繰り下げを拒んでいる現状は、都民の「移動の自由」=交通権を
軽んずる横柄な態度だと、私は非難せざるを得ません。

以上のことから、私は、東京都交通局に対して、
「だったら東京都交通局は、日暮里・舎人ライナーの保守作業担当者をゆりかもめに派
遣して技術力を向上させ、より短い時間で保守作業を行えるようにした上で、終電の
繰り下げや初電の繰り上げを行えるようにすべきではないのか？」
と反駁したいと思います。

2014年9月28日：足立区交通対策課宛て要望書
(メールで返信した文章を書面の体裁に整えた物)

私は、今回いただいたご連絡の要旨についても区議会議員の金沢美矢子様へ情報提供し、次回の交通網委員会で再び取り上げていただきたい旨を要請済みです。

小林様におかれましては、上に記した私の反駁を東京都交通局へお取り次ぎのうえ、次回の交通網委員会で東京都交通局からの再回答を答弁できるよう、然るべき対応をお願いしたく存じます。

何卒ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

追伸

今回の件が交通権学会のニューズレター『トランスポート21』第56号に掲載されました。ゲラのPDFファイルを添付しておきます。

敬具